

次世代を担う 子どもたちを育成する 教育のプロになる。

Faculty of Education

教育学部

学校教育課程

- ▶ 幼小連携教育コース
- ▶ 小中連携教育コース

〈 特別支援教育の
カリキュラムを強化 〉

学校教育課程 小中連携教育コース
岡垣 野乃花 佐賀県 佐賀清和高等学校出身

〈 学部 の 特色 〉

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴う教育課題に応えることができる教員の育成を目指しています。特に、近年増加している特別支援を必要とする子どもや児童生徒の教育への需要にも対応できるカリキュラムを実施しています。

- 「幼小連携教育コース」では、子どもの生活・発達・学習について、心理、教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識や技能を学びます。また、これらの知識や技能をもとに子どものニーズや課題を把握できる教員を養成します。専攻は「幼小発達教育専攻」と「特別支援教育専攻」の2つです。
- 「小中連携教育コース」では、小・中学校の9年間を一体的に捉え、義務教育期間全体を見据えて教育実践を行える能力を持った教員を養成します。児童期から思春期にかけての心身の発達過程や各教科の内容をふまえ、一人ひとりの学習意欲を高めながら着実な理解や達成の積み重ねへと導き、学力向上を実現することのできる指導・支援のあり方を学修します。専攻は「初等教育主免専攻」と「中等教育主免専攻」の2つです。

■ 教育目的

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴うさまざまな教育課題に応えることができる学校教員の養成を目的としています。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



教育に対する強い責任感と教育的愛情を持ち 子どもたちの成長に携わりたい。

教員採用試験を地元である佐賀県で受験することを考え、佐賀大学を推薦入試で受験しました。今は英語や外国語に関する様々な分野や教職の基礎知識などを学んでいますが、最も興味があるのは英語科教育法やフィールド演習といった指導法に関する授業です。演習・実習の機会が多く設けられているので、より実践的な力が身についたと思います。また、本コースには同じ夢に向かって頑張る仲間がいます。大変なことがあっても励まし合い、大きな壁も乗り越えてこられたので、ここで学べて本当に良かったと思っています。小学校・中学校・高校・特別支援学校の1種免許を取得し、将来は佐賀県で小学校教諭を目指します。

学校教育課程 小中連携教育コース
松隈 太雅 佐賀県 鳥栖高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます

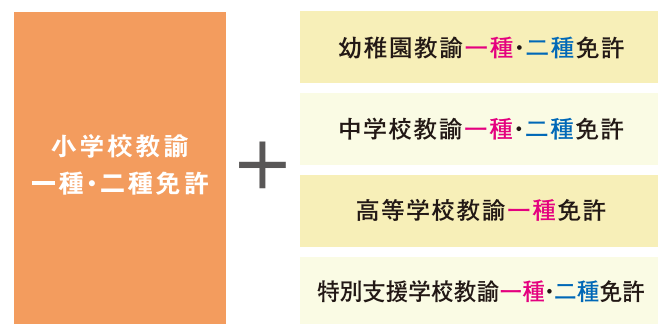


教育学部
サガつく
ポイント複数免許の取得で広がる
教育者としての幅広い可能性01 幼小・小中連携教育を実現する
複数免許の取得をサポート

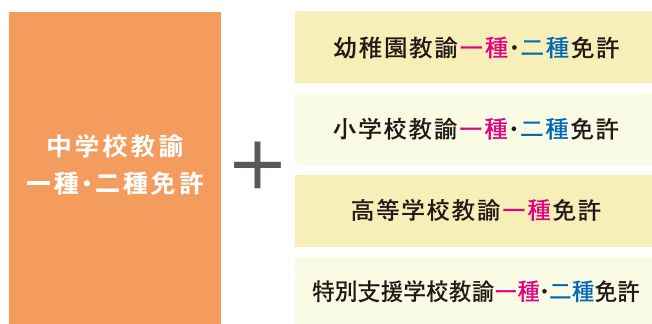
教育学部ではどのコースを選んでも「幼稚園教諭」「小学校教諭」「特別支援学校教諭」「中学校教諭」「高等学校教諭」から複数の免許取得が可能です。「幼稚園教諭」と「小学校教諭」のダブルライセンスや、小中一貫教育に携わるために「小学校教諭」「中学校教諭」を組み合わせるなど、目指す将来に必要な資格を在学中に取得できます。



小学校教諭免許とその他の免許の取得例



中学校教諭免許とその他の免許の取得例



◎ 幼・小・中・高校は教科・科目の免許が取得可能

「保育士」の資格取得には、国家試験の受験が必要です。

教科教育に重点を置き、各教科の学びを深めて専門知識と技能を身に付けます。小学校での英語教育に対応して、英語にも力を入れています。

全校種
対応

取得可能な中学・高校の免許科目一覧

国語	社会	地理歴史	公民
数学	理科	音楽	書道
保健体育	技術	家庭	英語

◎ 特別支援学校教諭の免許取得も充実

(教職大学院への進学→修了で専修免許も取得可能)

特別支援学校の教員になるためには、教諭免許状のほかに「特別支援学校教諭免許」が必要となります。幼小連携教育コースでは、子どもの生活・発達・学習について、心理・教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識を学び、免許取得をサポートします。特別支援学校にも強い教員を目指します。



丁寧なサポート体制

高い能力を備えた教育者を育成する充実の環境

現場で教える教科内容を
「質の高い授業」で学習

レベルの高い研究業績を持つ教員による、教科教育・教科内容で学びを深めます。学校教員になるための「質の高い授業」によって、教育現場で活用できる知識・技能を身に付けます。

理論と実践、どちらも
高いレベルで修得可能

教育学部から教職大学院まで「6年間の教員養成」を見据えた学修が可能。また、佐賀県公立学校教員採用選考試験においては、一般・教職教養試験免除制度※が新設されました。

※教職大学院修了後の専修免許状所有者(見込み含)対象

学部教員が一丸となって
試験対策を丁寧に指導

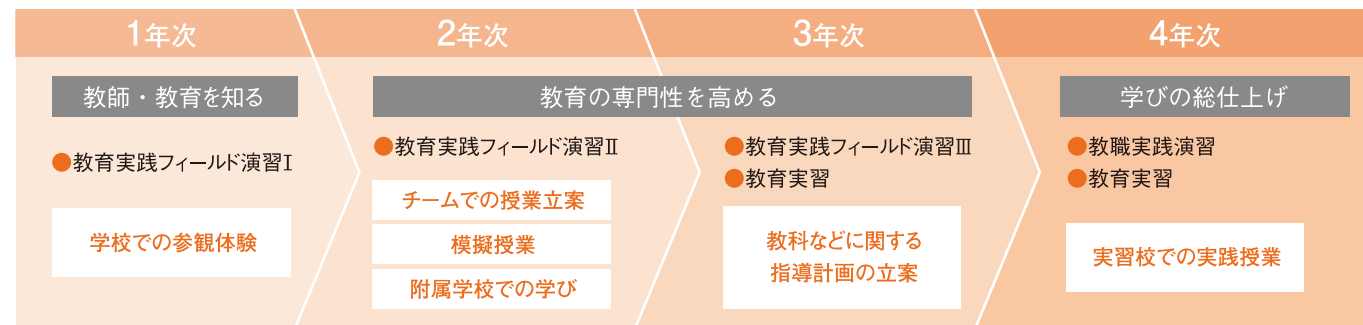
教員採用試験対策は、学部教員全員による丁寧な2次試験対策を中心とした指導を実施。過去問題の提供や実技指導など綿密な支援策で、合格への実力を積み上げていきます。

02 1年次から学校現場、3年次から教育実習へ、
実践経験を積むフィールド演習

1年次は参観等の学校体験を行うフィールド演習Ⅰ、2年次にはチームで授業を立案して模擬授業を行うフィールド演習Ⅱ、3年次には実地授業を行うフィールド演習Ⅲを実施。学内での講義のほかに体験学習をバランスよく組み合わせて、早い段階から教育現場での経験を積み、社会に出たときに即戦力として輝ける力を身に付けます。



[4年間の教育実習のイメージ]



附属学校での実習

教育学部には、一人ひとりの個性と能力を生かす教育の場である4つの附属学校(園)があります。教員を目指す学生が教育実習を行うのもこれらの施設です。



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

03 ICTを活用した模擬授業の実施や
地域との連携を通して現場が求める教員を育成

小学校での英語教育や今後増加が見込まれるICTなど、教育現場を取り巻く環境にいち早く対応するために、佐賀大学では英語力とICTに力を入れています。電子黒板やタブレット型端末機器などの設備を充実させ、高度なICT機器による模擬授業を行える環境を整備。GIGAスクール構想に強い教員を目指しています。また、地域と連携して教育の現場の情報を随時収集し、教育の現場でどのような教員が求められているかを把握することで、即戦力となる人材を育成します。

4年間で培った教員としての力と思い。
初心を忘れず、自分自身を磨き続けたい。

現在は佐賀県立鹿島高等学校で保健体育の教員として勤務し、2年生食品調理科の担任をしています。大学の4年間では、本当に多くの教育実習に参加することができ、それぞれの校種で子どもたちへの接し方や配慮の違いを感じました。初めてのことでばかりで緊張や失敗もたくさんありましたが、常に試行錯誤しながら取り組んだ日々は、私にとってかけがえのない財産です。それを乗り越えたからこそ、今の自分があると感じています。たくさん子どもたちとの出会いの中で、改めて「教師になりたい!」と思うことができた日々でもありました。4年間で学んだことを現在勤務している現場にも活かし、多様な生徒それぞれに応じた指導や支援に努めています。教壇に立ち3年が経ちましたが、この先も多くのことに挑戦し、初心を忘れずに教員としての資質を磨き、感謝の気持ちを持ち続けていきたいと思っています。



佐賀県立鹿島高等学校(大手門学舎) 勤務
村上 正浩さん
教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース
2020年3月卒業

【業務内容】
クラス経営の他、生徒指導部と生徒会副主任、部活動顧問を担当。



詳細情報はこちら

専門的な知識や技能を深め
特別支援学校教諭になって
子どもたちの可能性を広げたい



特別支援に関心があり、他教科の指導方法についても専門的に学びたいと考え、本コースを選びました。今は障害児学習指導法だけでなく、各種障害の病理や生理といった専門的な内容を取り扱う講義を受け、支援を行うための知識や技能を学んでいます。本コースの魅力の一つは、1年生の段階から学校現場に行けることです。子どもたちと関わり、先生方の姿を見て学び、とてもいい経験となります。教育実習では業務量の多さに大変さを感じる反面、子どもたちの成長や先生たちのやりがいにつくことができました。サークルは、障害がある方と一緒に楽しめるイベントを考える「有明会」と、手話を学ぶ「しゅわっち」の2つに所属しています。将来は専門性を身に付け、子どもたち一人ひとりに寄り添い、可能性を広げられる特別支援学校の教師になりたいと思います。

学校教育課程 幼小連携教育コース
白石 紗也華 福岡県 大牟田高等学校出身

学びの特色
1

解決に取り組める人になる

教員としての責任と使命を持ち、学校教育をめぐる今日的な課題の解決に取り組むことができる力量を育成します。

学びの特色
2

子どもを支援できる人になる

子どもの発達についての確かな理解を持ち、子ども一人ひとりの状態に応じた支援を展開できる力量を育成します。

学びの特色
3

子どもを支えられる人になる

保護者や家庭など子どもの生活と関わる他者と連携し、子どもの育ちを支える役割を担うことができる力量を育成します。

専攻の特徴

「幼小発達教育専攻」では、子どもの発達を心理学、保育・幼児教育学、教育学の観点から包括的に理解する力を育みます。「特別支援教育専攻」では、特別な教育的ニーズを持つ子どもに対して適切な教育的支援を行える能力を育てます。

卒業と同時に取得できる教育教員免許状

コース	専攻	幼I	幼II	小I	小II	中I	中II	高I	特支I
幼小連携教育	幼小発達教育	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲
特別支援教育	特別支援教育	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	◎

I：一種免許
II：二種免許
◎：卒業要件(必須)
▲：選択取得可能

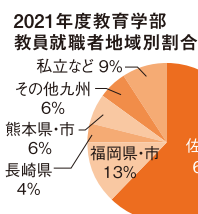
主な進路

〈就職先〉

- 佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立・私立高等学校、特別支援学校、幼稚園
- その他、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)

〈進学先〉

- 佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)
- 長崎大学大学院教育学研究科(教職大学院)



カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門教育科目	幼小発達教育専攻	【専攻の科目】 ●児童・生徒発達論 ●心理学概論 ●保育観察実習I ●特別支援教育総論 など 【教職・教科の科目】 ●教職概論 ●教育学原論 ●小学国語 ●小学体育I・II ●初等数学 ●現代の教育と社会 ●幼児・児童発達論 ●幼児教育課程論 ●保育内容(健康) など	【専攻の科目】 ●子どもの福祉と家族支援 ●保育表現演習I・II・III・IV ●教育統計I ●心理学実験I 【教職・教科の科目】 ●教育相談 ●教育原論 ●初等国語科教育法 ●保育内容(環境) ●小学社会 ●小学家庭 ●教育心理学 ●初等理科講義及び実験 など	【専攻の科目】 ●幼小連携教育研究 ●心理学実験II ●家族心理学 ●道徳教育と学級経営 など 【教職・教科の科目】 ●生活科教育法 ●人権教育論 ●生活科概説 ●生徒・進路指導論 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●小学図画 ●小学工作 など	【専攻の科目】 ●保育観察実習II・III ●卒業研究 など 【教職・教科の科目】 ●教職実践演習
	特別支援教育専攻	●教育実践フィールド演習I	●教育実践フィールド演習II	●教育実践フィールド演習III・教育実習(小学校)	●教育実習(幼稚園・特別支援学校・中学校)
	特別支援教育専攻	【専攻の科目】 ●特別支援教育総論 ●障害児心理学 ●病弱者・情緒障害者の心理・生理・病理 など 【教職・教科の科目】 ●教職概論 ●幼児・児童発達論 ●現代の教育と社会 ●小学国語 ●小学体育I・II ●初等数学 ●幼児教育課程論 ●保育内容(健康) など	【専攻の科目】 ●障害児学習指導法II ●教育統計I ●子どもの福祉と家族支援 ●肢体不自由者の心理・生理・病理 【教職・教科の科目】 ●教育相談 ●教育学原論 ●初等国語科教育法 ●小学社会 ●小学家庭 ●教育心理学 ●初等理科講義及び実験 など	【専攻の科目】 ●障害児学習指導法I・III ●障害児の心理臨床と指導法 ●発達障害児心理療養 ●重複障害教育論 ●幼小連携教育研究 【教職・教科の科目】 ●生徒・進路指導論 ●生活科教育法 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●人権教育論	【専攻の科目】 ●卒業研究 など 【教職・教科の科目】 ●教職実践演習
	特別支援教育専攻		●知的障害児心理学 ●社会的養護の理解 など	●知的障害者の生理・病理 ●LD等学習指導法 など	
	特別支援教育専攻			●生活科概説 ●小学図画 ●小学工作 など	

授業紹介

保育内容(表現II)



幼児教育や保育の実践で行われる造形活動について、模擬的な体験を行いながら、その意義や、有効な造形素材・技法を学びます。

幼小連携教育研究

幼小発達教育専攻では、教育学・心理学・造形教育から問題意識の設定や深め方を理解し、探求したいテーマと研究方法について考えていきます。特別支援教育専攻では、アンケート調査や心理学実験の演習や特別支援学校の児童生徒との関わりから、実態や支援方法について考えを深めています。教員全員がオムニバスで授業を行います。

障害児心理学



障害の種類と障害の特性、障害に伴う心理的影響や問題等を把握するとともに、障害特性に応じた支援のあり方に関する基本的事項を学びます。

研究室・ゼミ紹介

特別支援教育

芳野 正昭 教授



ゼミ生各自が興味・関心のあるテーマ(障害児支援、交流および共同学習、きょうだい児支援等)を決めて卒業研究に取り組み、障害児の理解と支援に関して研鑽を積んでいきます。

心理学

石井 宏祐 准教授



教育現場の今日的課題について、心理学的方法を用いて実証的に検証します。学生たちは不登校やいじめ、心の病などをテーマに研究に取り組んでいます。

幼児教育(造形)

栗山 裕至 教授

造形実践を主内容に、幼児教育の理論や方法、課題や可能性について具体的に研究します。幼児・児童について深く理解し、柔軟な発想を持った教員を目指します。

教育学

成松 美枝 准教授

小1プロブレムや幼児の保育と母親の子育てなど、子どもの教育について多様な問題をテーマに取り上げ、学生の興味・関心にそって卒業論文を作成しています。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- アプローチカリキュラムにおける5歳児の片づけ
- 幼小連携教育における小学校教諭の指導要録の活用について
- 地域との連携における学習機会の考察
- 小学生における学習動機付けと学業適応との関連
- 特別支援学校における知的障害児への性教育のあり方
- 発達障害・知的障害の子どもを持つ家族の思いと支援のあり方
- 保護者へのインタビュー調査を通じて
- 保育と自然体験についての考察
- 親子の情緒的支援の方向性が親子の親密さおよび子の自尊感情に与える影響
- 自己表現の観点から見る人間関係を高める幼児教育
- 長崎県の離島教育の現状と可能性
- 新上五島町の教育実践に着目して

教員紹介

教育学・学校教育

足立 佳菜 准教授

道徳教育

成松 美枝 准教授

教育制度

特別支援教育

芳野 正昭 教授

特別支援教育

日高 茂暢 講師

特別支援教育

図画工作

栗山 裕至 教授

造形教育

附属教育実践総合センター

石井 宏祐 准教授

臨床心理学

名倉 一美 准教授

保育学

成松 美枝 准教授

教育制度

特別支援教育

芳野 正昭 教授

特別支援教育

日高 茂暢 講師

特別支援教育

図画工作

栗山 裕至 教授

造形教育

附属教育実践総合センター

石井 宏祐 准教授

臨床心理学

名倉 一美 准教授

保育学

成松 美枝 准教授

教育制度

特別支援教育

芳野 正昭 教授

特別支援教育

日高 茂暢 講師

特別支援教育



詳細情報はこちら

実習や実験を通して実践的に学び
ものづくりの楽しさを伝えられる
技術科の教師に

実家から一番近い国立大学。それが、佐賀大学を選んだ一番の理由です。技術科の教師になるため、本コースを選びました。本学に進んで良かったと思うのは、先生方が教員採用試験のいろいろな情報を得てくれ、しっかりとサポートしてくださることです。佐賀県で教師になることを望んでいるので、とても頼りになります。今は、電気工学や機械工学で実習や実験などを通して学んでいますし、小学家庭や初等家庭科教育法では裁縫や調理の実習が課題として出ることもあり、興味深く取り組んでいます。大学2年生くらいまでは人前や一対一で話すことが苦手でしたが、教育実習などで人との関わりが増えたことで、最近は人前で話すことにも抵抗がなくなり、成長を実感しています。将来は中学校の技術科の教師になり、ものづくりの楽しさを伝えられる教師になりたいと思います。

学校教育課程 小中連携教育コース
渡邊 未知 佐賀県 唐津西高等学校出身

学びの特色
1

解決に取り組める人になる

教員としての責任を自覚し、学校教育をめぐる今日的な課題の解決に真摯な姿勢で取り組むことができる力を育成します。

学びの特色
2

個人に応じた教育を行える人になる

児童生徒の発達についての確かな理解を持ち、保護者や地域と手を携えながら、一人ひとりの心身の状態に応じた教育を展開できる力を育成します。

学びの特色
3

児童生徒の知的好奇心に応える人になる

児童生徒の知的好奇心に応えると共に、学修内容の確かな理解へと導くことができる力を育成します。

専攻の特徴

初等教育と中等教育を一体として捉えた特色ある教育を行います。「初等教育主専攻」では、児童の発達段階に応じた学級経営や各教科の教育スキルを幅広く学修します。「中等教育主専攻」では、各教科への深い造詣と生徒の発達段階に応じた授業構築を学修します。

卒業と同時に取得できる教育教員免許状

専攻	幼I	幼II	小I	小II	中I	中II	高I	特支I
初等教育主専攻	▲	▲	◎	▲	▲	◎	▲	▲
中等教育主専攻	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲

I：一種免許
II：二種免許
◎：卒業要件(必須)
▲：選択取得可能

主な進路

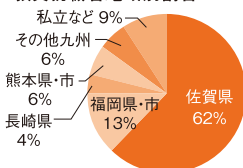
〈就職先〉

●佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立・私立高等学校、特別支援学校、幼稚園
●そのほか、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)

〈進学先〉

●佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)

2021年度教育学部 教員就職者地域別割合



カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
	インターフェース科目				
	専門教育科目				
初等教育主専攻	【専攻の科目】 ●小学英語 ●小学社会 ●小学音楽 ●教職概論 ●現代の教育と社会 ●小学体育I など	【専攻の科目】 ●初等外国語教育法 ●小学社会 ●小学家庭 ●道徳教育の理論と実践 ●初等理科講義及び実験 ●初等国語科教育法 ●初等社会科教育法 ●算数科教育法 ●教育心理学 ●教育原論 ●教育方法学(情報通信技術の活用を含む。) ●教育相談 ●特別支援教育の基礎 ●初等理科教育法 など	【中等教育副免許の科目】例:国語科 ●中等国語科教育法II など		【専攻の科目】 ●小中連携教育研究 ●生活科概説 ●生活科図画 ●小学工作 ●生活科教育法 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●生徒・進路指導論 ●LD等学習指導法 など
	【中等教育副免許の科目】例:国語科 ●中国文学概説 ●書写 など			【中等教育副免許の科目】例:国語科 ●中等国語科教育法I・II ●国語表現論 など	
	●教育実践フィールド演習I	●教育実践フィールド演習II		●教育実践フィールド演習III-教育実習(小学校) ●教育実践フィールド演習III-教育実習(中学校)	
	【専攻の科目】例:国語科 ●中国文学概説 ●書写 ●国語学概論 ●国文学論 など	【専攻の科目】例:国語科 ●国語学演習I ●中国古典学演習I ●道徳教育の理論と実践 ●教育相談 ●教育方法学(情報通信技術の活用を含む。) ●中等国語科教育法II ●特別支援教育の基礎 など		【専攻の科目】例:国語科 ●中等国語科教育法I・II ●国文学演習III ●中国古典学演習III ●国語学演習III ●小中連携教育研究 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●生徒・進路指導論 ●国語表現論 ●LD等学習指導法 など	
中等教育主専攻	【初等教育副免許の科目】 ●小学英語 ●小学社会 ●教職概論 ●現代の教育と社会 ●小学体育I など	【専攻の科目】例:国語科 ●国語学演習I ●中国古典学演習I ●道徳教育の理論と実践 ●教育相談 ●教育方法学(情報通信技術の活用を含む。) ●中等国語科教育法II ●特別支援教育の基礎 など		【専攻の科目】例:国語科 ●中等国語科教育法I・II ●国文学演習III ●中国古典学演習III ●国語学演習III ●小中連携教育研究 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●生徒・進路指導論 ●国語表現論 ●LD等学習指導法 など	
		【初等教育副免許の科目】 ●初等外国語教育法 ●小学社会 ●小学家庭 ●初等理科講義及び実験 ●初等国語科教育法 ●算数科教育法 ●教育心理学 ●教育原論 ●初等理科教育法 など		【中等教育副免許の科目】 ●中等国語科教育法I・II ●国文学演習III ●中国古典学演習III ●国語学演習III ●小中連携教育研究 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●生徒・進路指導論 ●国語表現論 ●LD等学習指導法 など	
		●教育実践フィールド演習I		●教育実践フィールド演習III-教育実習(小学校) ●教育実践フィールド演習III-教育実習(中学校)	
		【専攻の科目】例:国語科 ●中国文学概説 ●書写 ●国語学概論 ●国文学論 など		【専攻の科目】例:国語科 ●中等国語科教育法I・II ●国文学演習III ●中国古典学演習III ●国語学演習III ●小中連携教育研究 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●生徒・進路指導論 ●国語表現論 ●LD等学習指導法 など	

授業紹介

初等数学



クイズやパズルに潜む算数・数学を通して、物事を考える習慣を身に付け、思考力や発想力を養います。また数学が日常生活の中でどのように役立っているかについて紹介します。

初等外国語教育法



第二言語習得や外国語指導法に関する諸理論や授業実践の諸問題についての基礎的な知識を獲得し、コミュニケーション能力を養う英語指導の実践力を修得します。

化学実験



理科の実験風景の1コマです。写真は化学領域です。少人数での実験です。知識及び技能の習得・確認を行うとともに、未知の事象に遭遇した時の思考力、判断力を訓練します。

研究室・ゼミ紹介

体育心理学

山津 幸司 教授

本講義の学習を通して、小学校の体育や中学・高等学校の保健体育の教師として「体育授業」「運動部活動」の指導場面で心理学の知見を応用できるようになることを目指します。運動・スポーツをより効果的、効率的かつ継続的に実践していくには、身体的側面のみならず心理学的な諸理論の理解が不可欠です。特に運動学習や運動・スポーツに対するモチベーション、スポーツメンタルトレーニングを学習します。

中国文学

谷口 高志 准教授



中国の古典詩や小説を読み、その背後にある感性や美意識、思想や価値観について探求していきます。たとえば、恋愛小説における男女のかけひきを分析したり、詩歌のなかの龍のイメージの変遷を考察したりなど。

地理学

黒田 圭介 准教授



この演習では主に、国土地理院発行の地形図の読み方と、統計地図の作図法について学び、これらを基に地域の風景や自然環境、人間活動の特徴を考察できる力を修得します。

卒業生の主な卒業論文テーマ

●算数教育における子供のつまずきを減らすための指導法について
●「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす音楽科の授業づくりに関する研究
●小学校体育授業と道徳教育についての研究
●雄野温泉の降水による水質変化
●小学校家庭科における包丁を使った食品の切り方についての映像教材の開発
●小学校外国語教育におけるCLIL(内容言語統合型学習)の実現可能性についての考察
●小学校国語科における「書く力」を育成する言語活動の研究
●社会参画としての学力を育成する学習環境デザインの研究
●人工知能(AI)初學者向けの教材開発
●発達段階に応じた性の多様性(LGBTQ)に関する教育の研究
●小学校の教科教育におけるICT機器の活用について

教員紹介

【言語・社会系グループ】

国語	達富 洋二 教授 国語科授業論	中里 理子 教授 日本語学	谷口 高志 准教授 中国文学
社会	藤木 香江 准教授 書道	後藤 正英 教授 倫理学・思想史	吉岡 剛彦 教授 基礎法
英語	岡本 託 教授 西洋史	黒田 圭介 准教授 地理学	木原 誠 教授 英米・英語国文学
英語	黒田 圭介 准教授 地理学	木原 誠 教授 英米・英語国文学	吉村 圭 准教授 英米・英語国文学

【理数系グループ】

数学	川中子 正 教授 解析学	橋本 貴弘 准教授 幾何学	大林 将典 講師 数学教育
理科	緒 正勝 教授 動物生理学	岡島 俊哉 教授 有機化学	角緑 進 教授 火山学・岩石学
理科	中村 聡 教授 理論物理学	高島 千鶴 准教授 地球科学	小野 文慈 教授 和久屋 寛 教授 電子情報工学

【実技系グループ】

音楽	今井 治人 教授 指揮	荒巻 治美 准教授 音楽科教育	石川 美也子 准教授 ピアノ
体育	井上 伸一 教授 スポーツ科学	坂元 康成 教授 スポーツ科学	山津 幸司 教授 応用健康科学
体育	町田 正直 准教授 体育科学・運動生理学	堤 公一 准教授 保健体育科教育	澤島 智明 教授 住生活学
家庭科	小松 美和子 准教授 衣生活学	中西 雪夫 教授 家庭科教育	萱島 知子 准教授 食生活学